

**古賀政男** 作曲家。<戦時体制>の進中、次々とヒット曲を生み出して黄金時代、<敗戦>後も、歌謡曲界をリード。

こがまさお  
日露戦争始・1904 = 福岡県の柳川に近い田口村に生れた。  
日露戦争終・1905 = 1歳：

韓国併合・・1910 = 6歳：父が死去。以後、極貧の中、ゴザづくりをする母に育てられる。  
大逆事件判決1911 = 7歳：田口尋常小学校に入学。火事で家が焼失したり、泥棒に入られるなど災難。  
明治天皇没・1912 = 8歳：耐えかねて、朝鮮の仁川にいた長兄を頼り、母・姉・弟とともに渡る。仁川の高等小学校に転校。  
大正政変・・1913 = **9歳**：  
長兄から冷たくあつかわれ、母共々苦しむが、この頃、**母の縁戚の家で大正琴を入手、音楽に目覚める。**

**ロシア革命**・1917 = 13歳：\_不本意ながら、京城善隣商業学校に入学。校内で楽団を結成。

**大正14年条約**・1919 = 16歳：\_大阪にいた四兄からマンドリンを贈られる。

**原敬首相暗殺**1921 = 17歳：  
水平社結成・1922 = **18歳**：善隣商業学校を卒業し、大阪の四兄の店に奉公に出る。  
**関東大震災**・1923 = 19歳：志を立てて上京し、従兄のところに下宿し、**明治大学予科に入学。明大マンドリン倶楽部を創設。**  
護憲三派圧勝1924 = 20歳：\_同倶楽部が第一回大演奏会で活躍し、音楽塾にマンドリン・ギターの教師として招かれ、初めて自活。  
朝鮮より、母・姉を引き取る。  
**円本時代始**・1926 = 22歳：明大商学部に進む。

共産党事件・1928 = 24歳：\_悩んで自殺をしかかった時に湧き出た処女作「影を慕いて」を、人気歌手・佐藤千夜子の特別出演を得て発表。好評を博し、レコード歌謡の作曲を志す。

**世界恐慌**・・1929 = 25歳：\_明大商学部を卒業。帝国劇場でセゴビアのギター演奏を聴いて感銘。佐藤千夜子の歌唱で、日本ビクターから、「影を慕いて」他を初めてレコード吹き込みをし、発売される。

**満州事変**・・1931 = **27歳**：\*日本コロムビアと専属契約、作曲家としての一步を踏み出す。初吹き込み盤は藤山一郎を得て好評。続く、「酒は涙か溜息か」、さらに「丘を越えて」が大ヒットとなり、一躍人気作曲家となる。

五一五事件・1932 = 28歳：山田耕筰の媒酌で、結婚。  
国際連盟脱退1933 = 29歳：「ほんとにそうなら」も大ヒット、古賀メロディーが街にあふれる。肺浸潤をわずらい病臥。離婚し、伊豆伊東温泉で療養。当時無名のテイチクレコードの社長の見舞いを受け、意気に感じる。以後、独身。

帝人疑獄事件1934 = 30歳：故郷で母が死去。\_全快して、帰京。日本コロムビアを退社、テイチクに入社して、吹き込所を設立、代表となり、以後、次々と発表して、一世を風靡するとともに、テイチクを大会社にして行く。

芥川直木賞始1935 = 31歳：「二人は若い」はテイチク創立以来の大ヒット。  
二二六事件・1936 = 32歳：\*ビクターから藤山一郎を迎え入れ、「東京ラブソディ」を発売して、大ヒットするなど、黄金時代となる。

**日中戦争始**・1937 = 33歳：養女をとるが、3年で解消。\_時代は暗くなって行き、映画音楽「人生劇場」を最後にテイチクを退社。  
健保+総動員1938 = 34歳：渋谷区上原に家を新築。外務省音楽親善使節として、南北アメリカへ。その間、家を勝手に処分される。

第二次大戦始1939 = 35歳：\_訪米中、NBCで当時の最高権威D.ブラックに取り上げられて、古賀メロディーが放送される。帰国して、コロムビアに復帰。以後、軍歌全盛の中、「誰か故郷を想わざる」など、なんとか健在を示すが、

**大政翼賛会**・1940 = **36歳**：  
**日米開戦**・・1941 = 37歳：  
通人と養子縁組。  
\_戦局が進むにつれ、軟弱音楽の烙印が押されて、発売禁止となる。

年金+総武装1944 = 40歳：丈晴と養子縁組(のち解消)。河口湖畔に疎開。

**敗戦**・・・1945 = 41歳：終戦後、大田区雪谷に居住。

新憲法公布・1946 = 42歳：「麗人の唄」から活動再開。

極東裁判判決・1948 = 44歳：\*「湯の町エレジー」で戦後空前の大ヒット。(財)古賀ギター歌謡協会を創立、「古賀ギター教本」を著す。

三大事件・・1949 = **45歳**：日本劇場で作曲生活20周年の大公演を開催、劇場始まって以来の大観衆となる。

**朝鮮戦争始**・1950 = 46歳：弟子を連れてハワイ、アメリカへ音楽旅行。

**独立回復**・・1951 = 47歳：再び、弟子を連れてハワイ、南北アメリカへ音楽旅行。

メデ-事件・1952 = 48歳：名古屋御園座の公演も大入り。上原の家を取り戻して、居住。

**55年体制始**・1955 = 51歳：九州公演中、故郷に立ち寄り、大歓迎を受ける。この頃、美空ひばりと出会う。

**イサカトアム**・1958 = **54歳**：  
美智子妃・・1959 = 55歳：\_日本作曲家協会を創立、会長となる。日本レコード大賞を設定し、運営委員長となる。

**安保闘争**・・1960 = 56歳：\_最初のレコード大賞・作曲賞を受賞。

タイタイ病始・1961 = 57歳：能狂言「すみぬり」に出演。

全国総合計画1962 = 58歳：(株)古賀プロダクションを設立、会長となる。

TV宇宙中継始1963 = 59歳："新年御歌会"に参内。日本音楽著作権協会理事に就任。

**東京リカ-ック**1964 = 60歳：LP「大正琴・古賀メロディー」。「東京五輪音頭」が空前の大ヒット。

大学紛争始・1965 = 61歳：自伝「我が心の歌」。\_NHK放送文化賞。美空ひばりの歌った「柔」が日本レコード大賞グランプリ。

いざなぎ景気1966 = 62歳：「悲しい酒」。自伝がドラマとなり、放送される。映画「坊ちゃん」に出演。

美濃部都知事1967 = **63歳**：  
**霧ヶ関ビル**・1968 = 64歳：\_作曲生活40周年記念の古賀政男大全集LP7枚組「我が心の歌」を発売。古賀賞制定。紫綬褒章。

**全共闘ビ-ク**・1969 = 65歳：故郷大川市に「影を慕いて」の碑。「永訣の詩」。

**大阪万博**・・1970 = 66歳：母校善隣商業高校に時計塔を寄贈。

**日中国交回復**1972 = 68歳：45周年記念コンサート。「人生峠」。

**石油ショック**1973 = 69歳：  
数年前から、病で入院することが多くなっていたが、

角栄金脈辞任1974 = 70歳：\_45周年記念展覧会場で脳軟化症を発病、自宅療養。「浜昼顔」。日本音楽著作権協会会長に当選。

クワン-ル事件1975 = 71歳：勲三等瑞宝章。

田中角栄逮捕1976 = **72歳**：NHKビッグショー「古賀政男・歌の人生劇場」に出演。国立劇場の三味線演奏に参加。

JALハイジャック・1977 = 73歳：「広島の母」。\*明大マンドリン倶楽部第百回記念定期演奏会で指揮。作曲生活50周年記念の古賀政男大全集P20枚組「歌は我が友我が心」他多数。「歌はわが友わが心-古賀政男自伝」出版。

成田衝突・・1978 = 74歳：\_没した。

シリーズ「人間の記録」、「この人どんな人」、「没年日本史人物事典」、平凡社百科事典、山田風太郎「人間臨終図巻」、「目でみる日本人物百科」、